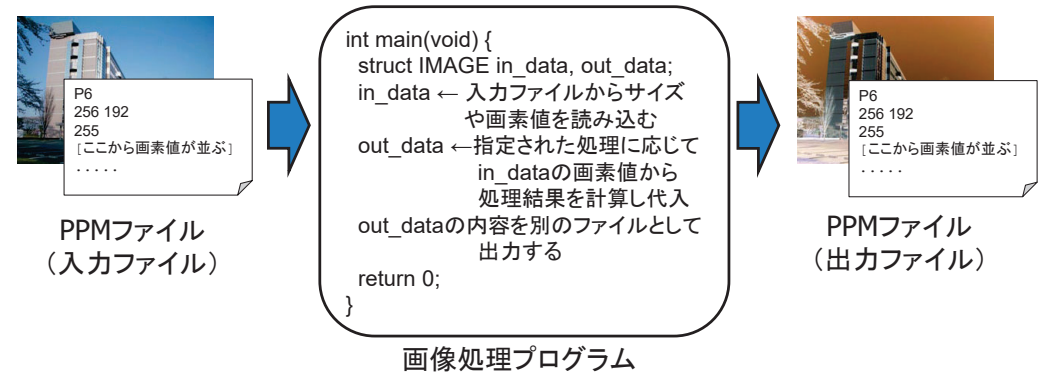


プログラム設計の指針

画像処理プログラムの全体像

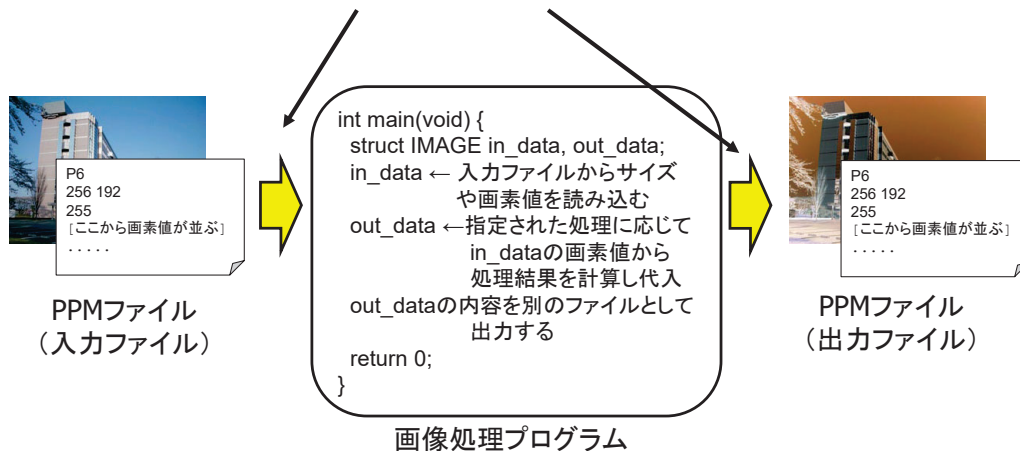
1. 入力ファイルからヘッダと画素値を読み込む
2. 画素値を処理に応じて適宜変更する
3. 変更した画像情報を別ファイルとして出力する



必要な知識①

■ ファイル操作

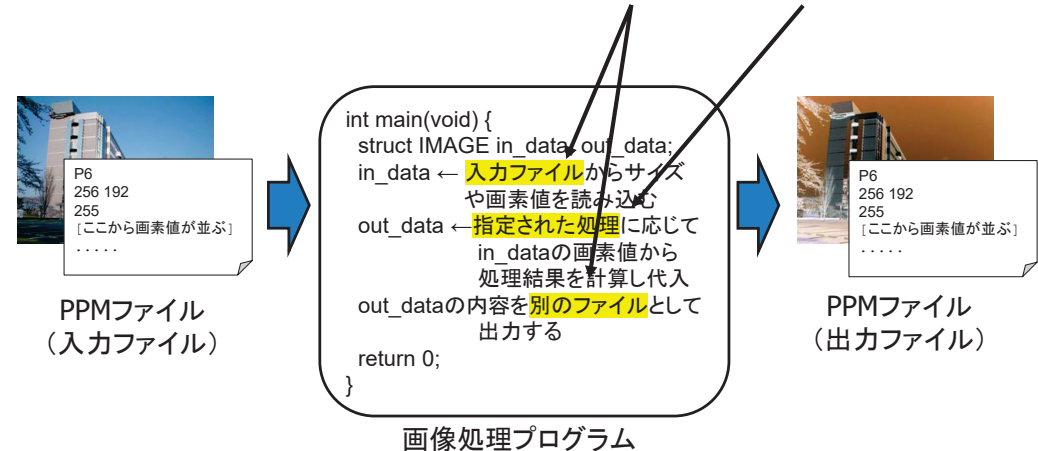
■ ファイルの読み込み, 書き込み



必要な知識②

■ コマンドライン引数

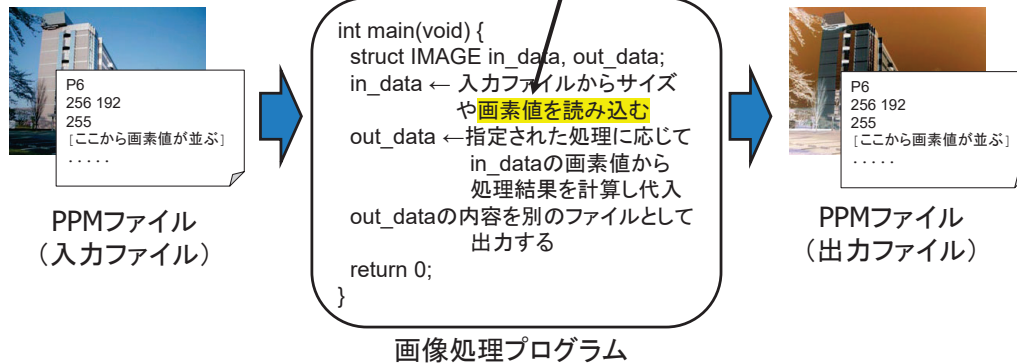
■ 画像処理をしたいユーザがファイル名や処理を指定



必要な知識③

■ ポインタ配列と動的確保

- 画素値を格納する配列の長さはファイル依存

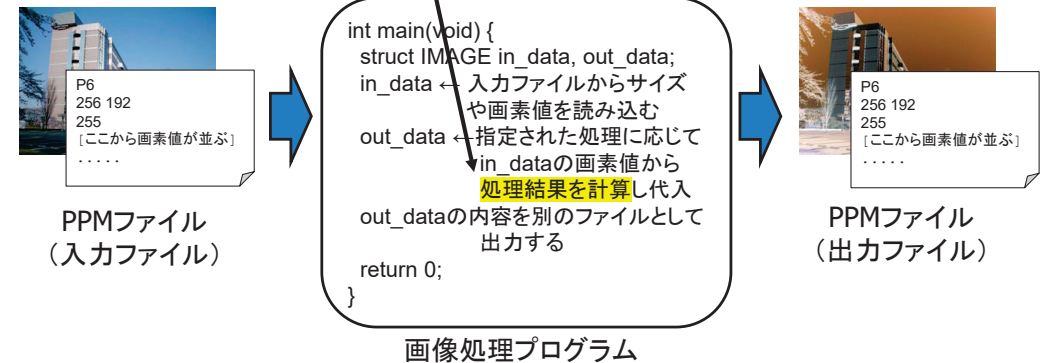


5

必要な知識④

■ ビット演算

- 減色処理はビット演算を使うと楽



6

全体の流れ

■ 1週目 (ファイル操作, コマンドライン引数)

- ユーザが指定した画像ファイルのヘッダ情報をテキストファイルに出力

■ 2週目 (ポインタ配列と動的確保)

- ユーザが指定した画像ファイルを読み込み, コピーを別ファイルとして出力

■ 3週目 (ビット演算)

- ユーザが指定した画像ファイルを減色または左右反転させて別ファイルとして出力

7